

乙訓平和委員会ニュース

発行年月日 2023年12月15日 No.466 発行・乙訓平和委員会 編集責任者・米重節男
電話・FAX 075-932-3546 MAIL heiwaotokuni@gmail.com

今年も勝手に乙訓平和委員会の10大ニュース

世界で戦争が続く2023年もあと少しで終わります。物価高騰に国民が苦しんでいるのに、自民党の政治資金と裏金が表面化して大問題のまま年を越す模様です。この一年を振り返って、恒例の「勝手に10大ニュース」(順不同)の発表です。なお、選択は編集者の勝手ですのでご容赦ください。

★2023年国民平和大行進は、6月22日4年ぶりに東京・広島コース通し行進者の村上厚子さんと雨の中を100人が歩いた。総計120人が参加して成功させた。

▽乙訓「非核・平和の鐘つき」は8月6日乙訓7カ寺で開催。平和委員会は西山浄土宗総本山光明寺(長岡京市粟生)を担当。35人が参加して「原爆許すまじ」を歌い、鐘をついた。京都新聞が大山崎町大念寺の鐘つきを取材報道。

◆京都平和委員会青年学生部が5月21日「戦跡さんぽ」実施。神足空襲戦跡を巡り、乙訓平和委員会で案内。

◎原水禁世界大会が、8月7日4年ぶりに長崎で現地開催。乙訓原水協が青年派遣支援で一人が参加。平和委員会はオンライン参加で視聴した。

●向日市憲法9条の会連絡会が2月24日にロシアのウクライナ戦争1周年で抗議集会。集会に乙訓平和委員も参加してアピール発言し向日市内をデモ行進。

☆関西原水協学校が1月28日オンライン開催。乙訓平和委員会もZOOM参加で視聴した。

▼10月1日乙訓平和のつどいで、「放射線を浴びたX年後Ⅲ フォールアウト」を上映。京都府内で2番目の上映。49人が参加。

○3.1ピキニデーが3年ぶりに静岡市・焼津市で現地開催。京都代表団に乙訓平和委員会からも参加。

■沖縄辺野古基地問題で、裁判所への公正判決を要請する団体署名に乙訓平和委員会名で提出。日本平和大会での呼びかけに応じた。

◇乙訓平和委員会ニュースに1年間で12人が投稿および登場。

(2面に別記事)

「思いっきり動いてみる」

毎日の生活の中で何かに取り組む時に、「型を学ぶこと」と「自由にやってみること」の相反することが出てきます。どちらが先だとか、後だとか。

私が日頃に接している算数・数学教育の世界でも同じことがあります。先に計算の仕方を学ぶのか、それともまずは面白い感覚でその教材に触れてみるとか。前者は、まず先生に教えてもらい、きちんと計算をする方法を身につけていきます。この方法にぴったりくる生徒もいます。また後者のように、ゲーム感覚でその教材に触れてみて、クラスの中でなぜこれをする意味があるのかなど、議論したり考えたり（探究）しながらその答えの1つとして公式などの計算式を導き出していく方法もあります。

先日、為末大さんが書かれた『熟達論』（新潮社、23.07.15 発行）という本を読みました。為末さんは陸上 400m ハードルの選手で、世界選手権で2度も銅メダルを取られています。この本の中で、モヤモヤしていたことがふと軽くなるある言葉に出会いました。それは「思いっきり動く」という言葉です。私は小さい頃から、どうしても頭で考えて（時には考えすぎて）行動をするパターンが多かったです。この「思いっきり動く」という言葉は、私のモヤモヤ感を少し柔らかくしてくれました。

タイトルにある「熟達」という言葉がこの本のテーマです。著者は、この熟達を次のように定義しています。「熟達とは人間総体と

しての探究であり、技能と自分とが影響しあい、相互に高まること」。また「技能を通じて「私」の扱い方を学び、私を通じて「技能」が探究されていく」とも。この熟達者になるためには、次の5つの段階があります。

「遊」→「型」→「観」→「心」→「空」。
今回は、1番目と2番目の遊、型を。

私が趣味でやっているウクレレを例にすると、この遊、型はなかなか深いです。音楽理論がベースにあるので、型の理解は避けて通れません。また思いっきりやってみる、とりあえず好きに弾いてみる……。これは遊、です。私の経験上、この遊、がうまくいったものは長く続いています。確かに常に型通りにやっていることは、仕事ではないので、続かないことが多いです。また私自身、ウクレレで熟達者を目指すわけではなく、気楽にやられていることも続いている理由かもしれません。

今回の「思いっきり動く」という言葉との出会いが、カチンコチンになりがちな私の普段のやり方に、何か方向性を与えてくれた感じがします。皆様は、いかがでしょうか。

(23.12.10)

